

授業科目名	アスリート・トレーニング科学特殊研究	授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	高橋 英幸			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	アスリートは、限界に挑戦して目標を達成することによって、満足すべき生活環境を確保するプロセスを社会に提示している。その達成のためには多くの要素が関係するが、本講義では体力と技術の要素に絞ってそのトレーニングについて研究する。ただし、両者はお互いに影響を及ぼし、一方への傾斜による1つのトレーニング分類があることは留意しておきたい。アスリートを対象としたトレーニング科学研究および支援の歴史、その在り方と意義、そして、実際の日本トップアスリートにおけるトレーニング研究・支援の実際、と進めることにする。論文作成に必要な専門知識を修得することを達成目標とする。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(%) 授業への取り組み状況(20%) レポート等の提出状況(80%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	講義の内容と執筆計画論文の内容との関連をレポートしてもらい、その練成度を基準とする。				
テキスト、教材 参考書	Physiological Test for Elite Athletes. Australian Sports Commission, Human Kinetics				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	随時 JISS 4F 408室(高橋)				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)
1	高橋 英幸	アスリート・トレーニング科学の歴史			
2	"	アスリート・トレーニング科学研究の在り方・意義			
3	"	アスリート・トレーニング科学支援の在り方・意義			
4	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学研究の実際 1			
5	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学研究の実際 2			
6	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学研究の実際 3			
7	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学研究の実際 4			
8	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学研究の実際 5			
9	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学研究の実際 6			
10	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学支援の実際 1			
11	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学支援の実際 2			
12	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学支援の実際 3			
13	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学支援の実際 4			
14	"	日本のトップアスリート・トレーニング科学支援の実際 5			
15	"	総括と評価			